

当院は熱海市二次救急指定病院として、静岡県東部・神奈川県西部地区の二次救急医療を担っています。年間の救急患者数は約 6400 件で 1 ヶ月の救急患者数は約 530 件です。搬入患者は外傷（交通事故含む）、脳出血、虚血性心疾患、消化管穿孔・出血、薬物中毒等々全科が対象で、小児科は 24 時間／365 日体制で対応しています。また、日勤帯の救急搬送患者の対応だけでなく一般外来受診の重症患者や院内救急コール時の発生時対応もしています。

## 何を学ぶことができるか？

観光地「熱海」の特性から旅行者の受診も多く、診療科は全科にわたっています。

救急担当看護師はフィジカルアセスメントに習熟し、搬送されてきた患者のバイタルサインの的確な観察、急変時の対応・病態の知識、判断力、正確で確かな技術、精神面の援助等、患者の変化にいち早く察知・対応できるように日々学んでいます。

その他、心臓血管カテーテル、各種検査の介助も行いますので、様々な知識・技術を習得できます。

## 教育に関する取り組み

救急医療の第一の目的は「救命」です。救急外来では、BLS・ACLS・JPTEC のプロバイダーコースを受講し認定を取得するなど、必要な知識・技術の習得に努めています。

また、院内では月 1 回 AHA-BLS 公認コースを開催しています。

そのため、院内で BLS ヘルスケアプロバイダーの取得者は 200 名以上です。



## スタッフより

「救急外来」として独立した部署になってから、今年 5 年目を迎えました。

今は看護師 3 名の小さな部署ですが、救急看護に興味や意欲のある仲間を増やして行って「もっと多くの救急搬入対応が可能になるようにできれば…」と思っています。

看護師 3 名の内の 1 名は男性看護師で、救急外来勤務 5 年目の頼もしい存在です。

また、当院の救急外来の特徴として心臓カテーテル室・CT 室などユニット内にあり、迅速な検査・治療が可能です。コンパクトながら、機動性に優れた構造です。

